

グリーン OA のグッドプラクティスと課題

(2019 年度オープンアクセスリポジトリ推進協会総会 第 2 部)

趣旨説明

北海道大学 前田隼

オープンアクセスリポジトリ推進協会（以下、JPCOAR）では、2019～2021 の 3 か年の戦略を策定し、リポジトリによる知の発信システムを構築し、オープンアクセスのより一層の推進を目指して活動を行っている。

コンテンツ流通促進部会に属するコンテンツ収集チームは「コンテンツ収集のために効果的な方法を検討するため、統計分析等によって現状を調査する」という活動計画を立てた。これにあわせて 2019 年度は、NII が昨年度に実施した計量分析をもとにインタビュー調査を行い、グリーン・オープンアクセスの推進のために必要かつ有効なファクター（あるいは制限となっているファクター）を明らかにすることを目標とした。

2020 年度以降、各大学の実務レベルに適用できる方策を提案し、JPCOAR の参加機関に還元していく計画であるが、それを待たずして今回、JPCOAR 総会の間をもって、インタビュー調査から得られたグッドプラクティスを先行共有することにした。これによって日本のリポジトリ運用機関の情報共有を図り、一層のリポジトリ活用・オープンアクセス推進の一助となることを目指した。また、本グッドプラクティス講演をきっかけに JPCOAR が日本のリポジトリ・コミュニティの情報交換の場として活性化することを期待して企画した。